

行政改革

問「より安いコストで、より良いサービスを提供するための方策」として行政評価が有効ではないか。住民に一番近い現場部門の改善活動や、その成果を数値で評価し住民がわかるように情報公開が必要ではないか。行政の現状が把握でき認識し変化度合いが毎年比較できるようになれば分析可能にもなり、競争原理が働くようになります。成果目標を掲げ最善を尽くした中で結果を見直し次の頑張る気力が湧いてくると思います。窓口業務も本庁では市民課窓口で11業務を扱い、あとはそれぞれの窓口で対応しています。支所では市民室窓口で34業務を扱い健康福祉室窓口で33業務を扱っています。利便性を比較した中で本庁での

総合窓口も出てくるのではないのでしょうか。静岡県内21市の中で行政改革度は20番目です。市民が納得できる改革ができませんか

答 財政環境の厳しさと同時に少子高齢化社会を迎え、市町村独自の創意・工夫が求められています。より効果のある行政サービスを提供するために行政評価は避けて通れないものと受けとめております。行政評価や目標管理の重要性を職員に十分認識させるとともに、行政の責任分野を明確にし「適正な負担・適正なサービス」を再検討します。来年度より事業別予算制度を導入し、事務事業の重点化を図りより効果のある行政サービスの実現をめざします。



# 委員会報告

委員会で審議された中で、特に質疑の集中したものをピックアップしました。



## 総務経済 委員会

問 平成16年御前崎市一般会計歳入歳出予算の補正（第2号）の内総務部、事業部、監査委員の所管に属する事項について、総務管理費中、市単工事費3、620万円の詳細説明を

答 御前崎支所の空調機は20年を経過し故障が多い。次年度、支所を教育会館として使用するため、内訳はチャラーの交換及び設備関係に3、500万円、浄化槽の改修に120万円をお願いしたい。

問 総務管理費中、バス路線維持費補助金について当初の契約内容について聞きたい

答 平成14年度に道路運送法が改正され、事業者が届出により撤退できるようになった。生活交通を確保するには自治体の補助制度で対応せざるを得ない。